

## 部長会議開催結果 概要

<b>●日時</b>	平成 29 年 5 月 15 日（月） 午後 3 時から午後 3 時 55 分まで																				
<b>●場所</b>	3 A 会議室																				
<b>●出席者</b>	■は出席（代理出席は○）																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">■ 市長</td> <td style="width: 25%;">■ 八木副市長</td> <td style="width: 25%;">■ 宮村副市長</td> <td style="width: 25%;">■ 教育長</td> </tr> <tr> <td>■ 政策部長</td> <td>■ 市長公室長</td> <td>■ 危機管理監</td> <td>■ 財務部長</td> </tr> <tr> <td>■ 市民部長</td> <td>■ 福祉部長</td> <td>■ こども健康部長</td> <td>■ 環境産業部長</td> </tr> <tr> <td>■ 建設部長</td> <td>■ 都市部長</td> <td>■ 上下水道局長</td> <td>■ 教育部長</td> </tr> <tr> <td>■ 消防長</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	■ 市長	■ 八木副市長	■ 宮村副市長	■ 教育長	■ 政策部長	■ 市長公室長	■ 危機管理監	■ 財務部長	■ 市民部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ 建設部長	■ 都市部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長	■ 消防長			
	■ 市長	■ 八木副市長	■ 宮村副市長	■ 教育長																	
	■ 政策部長	■ 市長公室長	■ 危機管理監	■ 財務部長																	
	■ 市民部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長																	
■ 建設部長	■ 都市部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長																		
■ 消防長																					
進行：市長 事務局：企画課長、課長代理 陪席 秘書課長、課長代理																					
<b>●会議</b>	1 市長所感																				
	2 協議事項 山岳雑誌出版社主催の「山の日」イベントを後援することについて 広報課、観光課																				
	3 報告事項																				
	(1) 平成30年度国民健康保険制度改革について 国保年金課																				
	(2) 公共下水道汚水の誤接続に伴う下水道使用料の還付等について 営業課 ア 公共下水道汚水の誤接続に伴う下水道使用料の還付について イ 公共下水道使用料の賦課漏れ対応状況及び大根小学校の取扱いについて ウ 公共下水道使用料の外水栓への賦課について																				
(3) 土地利用委員会調整部会の審議案件について 開発建築指導課																					
4 議員連絡会（5月16日）への報告事項																					
(1) 平成30年度国民健康保険制度改革について 国保年金課																					
(2) 公共下水道汚水の誤接続に伴う下水道使用料の還付等について 営業課																					
<b>●会議概要</b>																					
<b>1 市長所感</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴールデンウィークは天候に恵まれ、秦野駅でも多くのハイカーを見かけた。職員もリフレッシュされ、心新たに職務に臨んでいると思うが、健康に留意され、職務に専念してほしい。</li> <li>・ 31日にいよいよチャレンジデーが実施される。22日は宇部市の久保田市長とスカイプを使ってエール交換を行う予定である。より多くの参加者のもと実施できればよい。</li> <li>・ 先月、総合計画後期基本計画重要施策ヒアリングを行った。今年度の重要施策に対する私の思いは理解いただけたと思う。各部局の重要案件等の進行管理を徹底してほしい。</li> <li>・ 職務を進めるに当たり、実際の現場を見なければ分からないことは多い。机上だけで決めるのではなく、自分の目で見てほしい。</li> <li>・ 来週からは会派との懇談会、6月には議会も始まる。部下の皆さんの健康管理にも配慮してほしい。</li> </ul>																				
<b>2 協議事項</b>	<p>山岳雑誌出版社主催の「山の日」イベントを後援することについて 広報課、観光課</p> <p>【説明】</p> <p>資料に基づいて説明</p> <p>【意見・質疑】</p> <p>Q. 秦野市としてのメリットは何か。</p> <p>A. シティプロモーションでは、官民の連携が重要である。全国への知名度の向上、外からの来訪者の増加などが見込まれる。</p>																				

Q. 公園を所管する公園協会や県は全面協力ということによいか。

A. 県観光課や湘南地域県政総合センター企画調整課とも調整をしており、県も後援を行う方向である。

→やるとなれば成功させなければならない。本市の豊かな環境をPRする絶好の機会である。秦野を売り出すためのイベントと考えて、市として協力し、盛り上げていくという姿勢でお願いしたい。

Q. 高尾山では3万人ということだが、秦野ではどのくらいの来場者を見込んでいるのか。

A. 2日間で1万人の来場が見込まれる。

→秦野駅や渋沢駅でバスに乗れない人が出ないように、行政としてバックアップをしてほしい。

### 3 報告事項

#### (1) 平成30年度国民健康保険制度改革について

国保年金課

##### 【説明】

資料に基づいて説明

##### 【意見・質疑】

・なし。

#### (2) 公共下水道汚水の誤接続に伴う下水道使用料の還付等について

営業課

##### 【説明】

資料に基づいて説明

##### 【意見・質疑】

Q. 下水道使用料は税と同様に5年の還付ということだが、市のミスによるものは10年を超えての還付も必要だと思うがどうか。

A. 使用水量を把握できれば、10年を超えて還付することも考えられる。

Q. 大根小学校について教育部との調整はどうか。また、使用量のデータが18年度以前は保存していないとのことであったが、それ以前の使用量の把握はできたのか。

A. 教育部にも考えを理解していただき、支払いをいただくこととした。使用量は、教育総務課で明細を持っており、確認ができた。

Q. 支払いを拒否している人への対応はどのようなようか。

A. 粘り強く対応していきたい。

Q. 外水栓への賦課はどのような事例が多いのか。

A. アパートやマンションがほとんどである。アパートでは、例えば戸数4戸に対してメーターが5つあるというもので、賦課誤りの可能性が高い。マンションでは管理人室を共用栓として使用している場合があり、実際に水を流して確認する必要がある。

Q. 賦課誤りということであれば、何年分還付することになるか。

A. データがあるのは平成19年度以降分であり、それ以降の期間ということになるが、使用水量が分かるような書類があれば、それ以前の

分も還付することとなる。その場合は、また協議させていただきたい。

**(3) 土地利用委員会調整部会における審議案件について 開発建築指導課**  
**【説明】**

資料に基づいて説明

**【意見・質疑】**

・なし

**4 議員連絡会（5月16日）への報告事項**

- (1) 平成30年度国民健康保険制度改革について
- (2) 公共下水道汚水の誤接続に伴う下水道使用料の還付等について

企画課  
国保年金課  
営業課

**5 連絡事項**

- (1) 秦野チャレンジデー2017について
- (2) ミュージカル「KINNJIRO」について

市民部  
市民部

－15:55 閉会－